

平成24年度第1回

宝塚市廃棄物減量等推進審議会議事録要旨

平成24年7月6日開催

## 平成24年度 第1回 宝塚市廃棄物減量等推進審議会議事録

【日 時】平成24年7月6日(金) 午後1時30分～3時30分(2時間)

【場 所】宝塚市クリーンセンター 3階 会議室

【出席委員】委員17名中15名。

委員の過半数以上の出席があり、宝塚市廃棄物減量等推進審議会条例  
第6条第2項の規定により会議は成立

出席委員は次のとおり

中丸会長、原田副会長、池田委員、中野委員、滝川委員、稲野委員、藤  
井委員、今里委員、菊川委員、池田委員、金岡委員、橋委員、戸川委員、  
国山委員、頼岡委員

【事務局】副市長、クリーンセンター所長、業務課、管理課、  
(株)日本環境工学設計事務所

【傍聴者】なし

- 1 開会
- 2 委嘱辞令交付
- 3 副市長あいさつ
- 4 出席者紹介
- 5 会長・副会長選出
- 6 会長あいさつ
- 7 諮問「宝塚市一般廃棄物処理基本計画の改定について及びプラスチック類の分別・処理のあり方について」
- 8 会議録署名委員：菊川委員、金岡委員
- 9 審議

中丸会長：それでは、これより議事に入ってまいりたいというように思います。

委員の皆様、先ほどご覧のとおり、ただいま山下副市長より諮問を受けました。

事務局：(資料説明)

中丸会長：はい、ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明、それから配付されている資料、いろいろ見ていただいたのですけれども、それについてご質問等ありましたら挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

中野委員：排出量には、春と秋に実施する一斉清掃で発生する泥は含まれているか。ごみゼロ推進員について、推進協議会で現状等協議させてもらいたい。

事務局：(泥は) ごみ量に含まれていない。廃棄物ではないため。

ごみゼロ推進員については、別の機会に協議をお願いしたい。

原田副会長：東北沖地震で発生したガレキを受け入れ続けるか、ごみ量に加算されるか。

事務局：本年度から3カ年かけて焼却施設の工事を行うため、市内で発生するごみの処理で手いっぱいとなるため、受け入れることはできない。

藤井委員：きずな収集について、市内では何件ぐらい利用しているか。

事務局：目標を130件としているが、実勢には170件から180件利用している。

橋委員：新たな収集方法の検討とあるが具体的にどのようなことか。

事務局：紙・布、かん・びんについては、一貫した処理を、民間委託する事業を試行的に行った。選別精度があがり有効な手法であることが確認できた。

事務局：(資料説明)

中丸会長：プラスチック類についての資料に関してご質問等ありますでしょうか。

国山委員：プラスチック類のリサイクルをなぜやっているか。

事務局：有料化の議論を進める前にやるべきことがあるだろうとのことで、容器包装リサイクル法の施行もあり、全てのプラスチックについて分別することになった。また、焼却量を削減するため、プラスチック全量を抜き出して資源化すべきと判断した。

国山委員：再考の余地はないのか。

事務局：平成21年度の審議会においても再検討したが、継続することとなった。

金岡委員：容リプラと容リ外プラの違いが分かりづらい。

事務局：容リプラは、製品を包んでいる包装物である。容リプラのマークのあるものを示す。容器包装以外との違いがわかりづらいため、本市は併せて収集し、市の方で選別する方式をとった。

橋委員：本市のプラスチック類の処理単価がかなり高い。大阪府では、2万3千円くらいである。東大阪が1万4千円、その他1万1千円となっている。

市民としては、容リだけをやって競争性を高めてコストを下げ方向を検討してもらいたい。

環境のことを考えると、運搬に伴う車両の往來を抑制するために近くにある業者をお願いした方がよい。

滝川委員：岡、県では、協働と参画を重視しており、市民力を活かした取組が求められている。既計画の取り組みの多くは行政ばかりで進めようとしている。

市民力を活かした取組について議論していくべき。

中丸会長：今後の審議会の中で議論を深めていきたい。本日は、新しい委員もいるので諮問の内容を理解するため、説明に多くの時間をさいた。次回から具体的に議論をしていきたい。これで説明・質疑を終わりにしたい。

今後はプラスチック類の処理の在り方の再評価について具体的に議論していきたい。

中間答申した後、基本計画案の提示及び審議を進め、基本計画をまとめ答申する。これで行きたいがよろしいか。

(全委員が了承)


10 その他


中丸会長：前回の審議会にて審議し条例施行との方針を決定しました、「資源ごみの持ち去りを禁止するための条例改正」についても副市長より報告がありました。次回については、8月末に実施したい。具体的な日程はまた連絡する。今回は、本日の資料を見ていただいた上でプラスチック類の処理のあり方について議論を深めたい。本日の会議はこれで終了としたい。ご協力ありがとうございます。

(午後3時30分 閉会)

上記議事録について議事内容と相違ないことを承認し、ここに署名押印する。

平成24年7月6日

議事録署名人 菊川 博美 

議事録署名人 金岡 英雄 

議長 中丸 寛信 